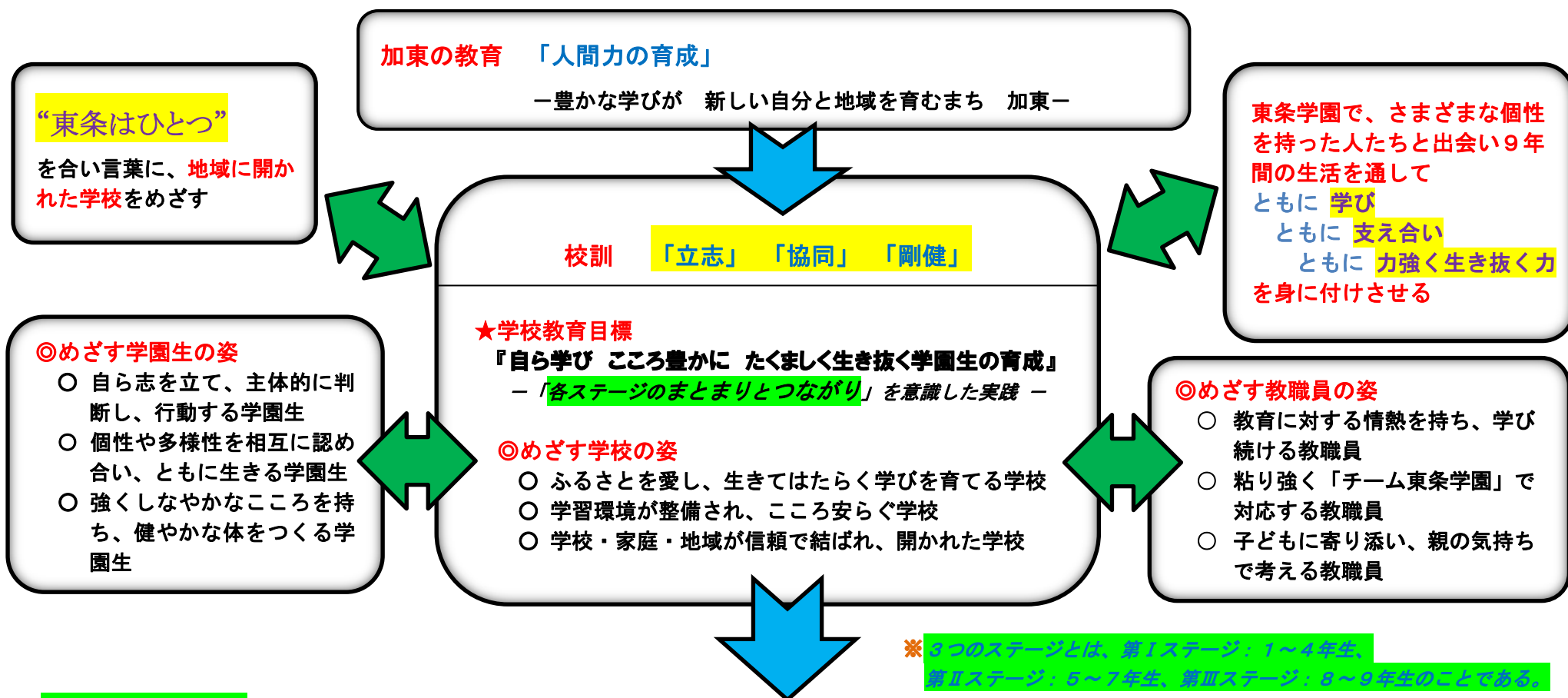
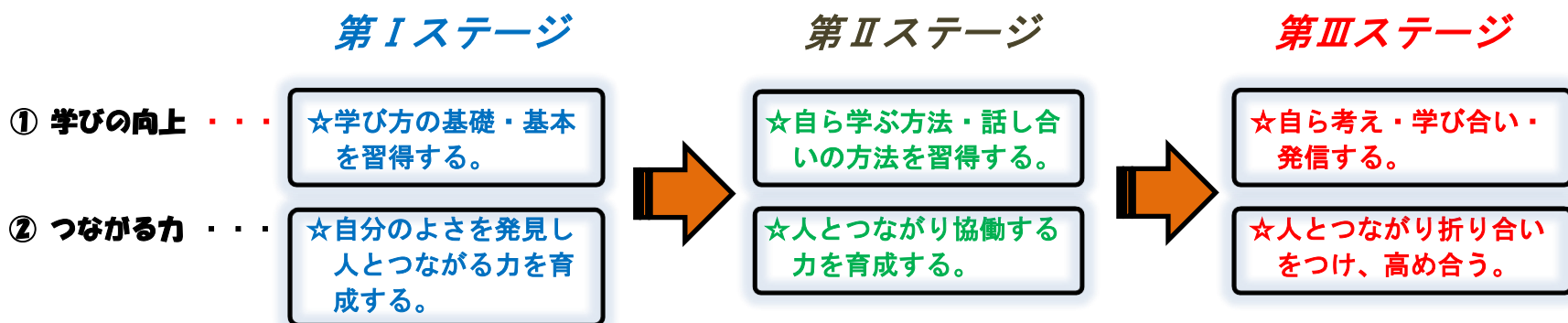


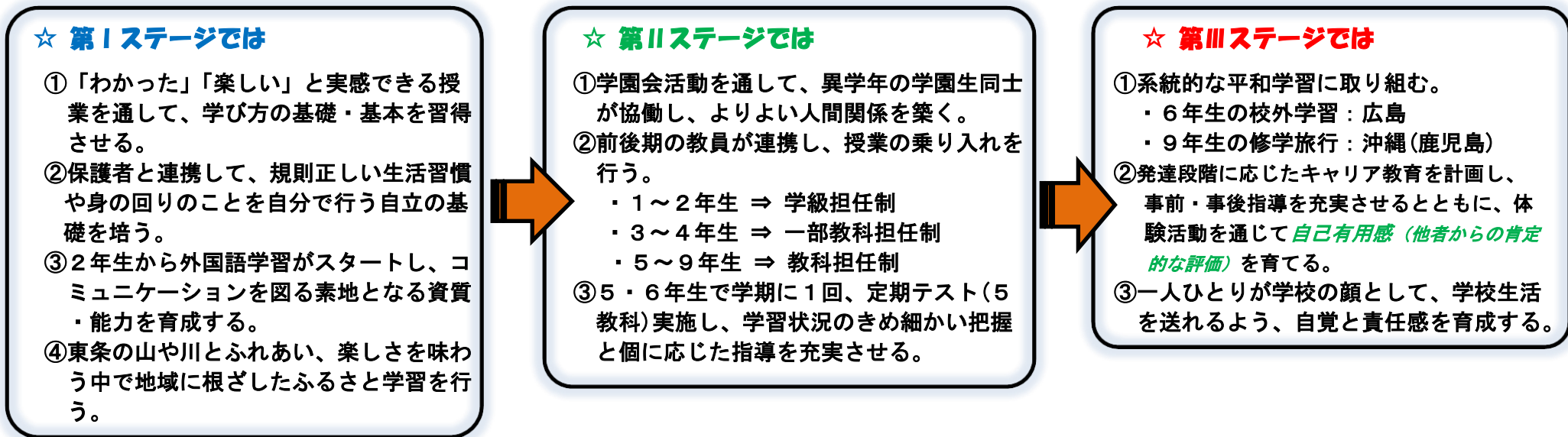
令和4年度 東条学園小中学校 経営方針



★ 9年間を見通した系統性のある学び(縦につながる4-3-2の3つのステージ)



★ 3つのステージの特徴的な学び



★ 具体的な取組 ☆:本年度の重点項目

1 生きてはたらく学びの向上を図る。

- ★授業目標(めあて・ねらい)を児童生徒と共有し、自らの学習活動の「振り返り」を行うなど、児童生徒のつまずきの解消や系統性を重視した授業を実施する。
- 「何を学ぶか」「どのように学ぶか」の視点に立った授業改善を図る。
- 情報モラル教育を充実させ、ICT機器を活用した効果的な授業づくりに努める。

2 他者とつながる力を育成する。

- エンカウンター等を活用した人間関係づくりに努め、安心できる学級とする。
- ★学園会の中央委員が中心となって、体育大会、学園祭等の学校行事を企画・運営することで、学園生の自治能力を育成する。

3 思いやりや寛容の心を持ち、互いに高め合う力を育成する。

- ★自分の問題として「よく考え」、その考えをより深めていくために級友と「議論する道徳」をめざした授業づくりを推進する。
- つなぐ平和学習を通して、平和の尊さ、大切さを考え、行動する力を育成する。

4 健康な心身を育て、安全に対する意識を高める。

- 定期的な困ったことカードや教育相談の実施により心のケアの充実に努める。
- 系統的な体幹トレーニングを実施し、体力・運動能力の向上や正しい姿勢を身に付けさせ、けがの予防に努める。

- ★東条地域学校協働本部と連携して通学路の見える化を行うとともに、危険予測できるなど自らの命を守る能力を身に付けさせる。

5 心通う集団づくりをめざして、積極的な生徒指導を推進する。

- 完全ノーチャイムを実施し、時間を常に意識させ、自己管理能力の向上を図る。

- ★SCやSSWを含めた学園生の支援体制【ケース会議や学年(層)会議】を充実させ、福祉・医療機関等と積極的な行動連携を図る。

6 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な特別支援教育を推進する。

- 個別の教育支援計画等の見直しを実施し、本人・保護者の願いを中心に据えてライフステージに応じた適切な教育課程を編成する。
- ★加東市発達サポートセンター「はぴあ」と連携や、デリコラ(巡回相談)等を積極的に活用し、きめ細かく適切な学園生支援・家庭支援を行う。

7 地域に開かれた学校づくりを推進する。

- 学校運営協議会で説明・承認や意見をもとに、学校運営を推進する。
- ★学校運営協議会・地域学校協働本部を両輪として、学園生の健全育成を中核に、学校と地域が一体となって協力しながら教育活動を行う。
- 地域での作品展示、地域行事やボランティア活動への参画、地域住民の積極的な学習支援などを通して、東条地域の担い手を育む教育を推進する。

8 教職員が心身ともに健康で、働きやすい職場環境づくりを進める。

- 学校の業務内容を見直し、効率化を図ることで、学園生と関わる時間を確保する。
- 定時退勤日・ノー部活デーの完全実施、年休等取得促進により教職員のワーク・ライフ・バランスの保持に配慮する。
- ★円滑なコミュニケーションを図り、教職員相互の協力・協働の職場環境づくりに努める。